# ためしてみよう ASP. NET Core Blazor

T. Matsumori



#### Blazor とは

- Microsoft の ASP.NET の一番新しいやつ。
- ASP.NET については、複雑なのでまた別機会。

MSのPHPみたいなやつ

• Blazorには3種類ある。

- ① Blazor WebAssembly (SPA:シングルへ。ーシアフッリ)
- ② Blazor Server (SignalR。シンクライアント)
- ③ Blazor United (①②の統合。未リリース)

• 今回は①のBlazor WebAssemblyを取り上げる。

#### Blazor WebAssembly

- WebAssembly とはブラウザがバイナリを受け取って実行できるようになったもの。JS代替
- 2019年にはW3C勧告「WebAssembly Core Specification」が策定。WebAssemblyは正式なウェブ標準に認定。
- 主要ブラウザでは既に対応済み。サーバー からバイナリファイルを受け取り、ブラウザで クライアント側実行。ブラウザでC#が動く!
- 言語に依存しない。いろいろな言語から WebAssemblyのバイナリファイルが作れる。

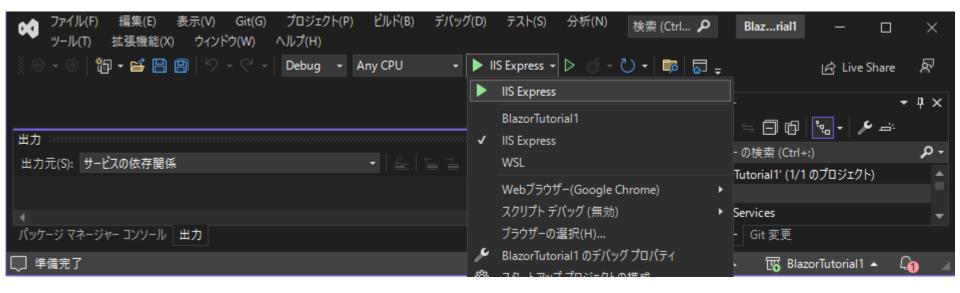
## 教材

- CodeZine に良い連載があったため教材に。
- ASP.NET Core Blazorチュートリアル
- https://codezine.jp/article/corner/840

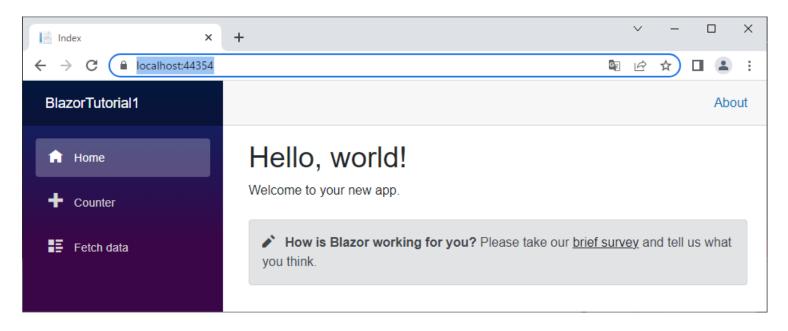
- 連載は5回(2020~21年)。今回はそのうち、第一回を進める。
- ① C#でSPAが実現できる、Blazor WebAssembly のはじめかた

#### ではさっそく。。。

- Page 2 の[プロジェクトの作成]。
- Visual Studio Community 2022 にて Blazor WebAssembly アプリをクリック。
- ソリューション名は「BlazorTutorial1」。
- コンボで「IIS Express」を指定しビルド。



# サンプルが立ち上がります



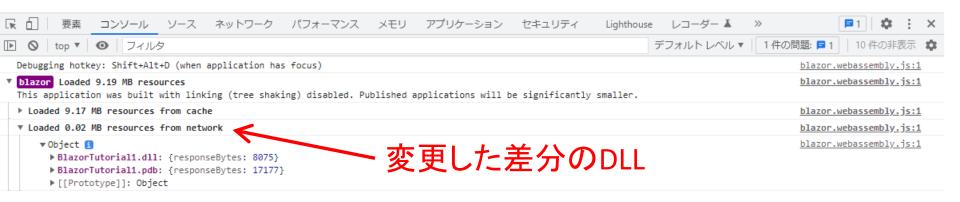
- ページ遷移の無いSPA:シングルページアプリケーション
- Home, Counter, Fetch data それぞれ機能する。

例: AdminLTE (Bootstrapベース)とかでよく見る やつだが。。。

# 確かにバイナリを読んでいる

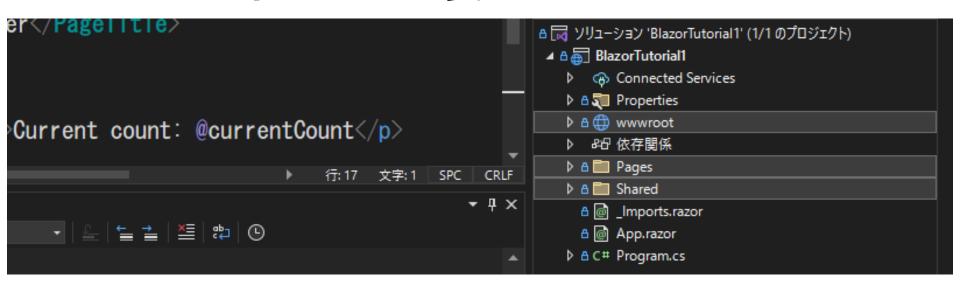


- 最初に9.19MB DLしてSPA作っている。
- 二回目以降はキャッシュが効く。



## プロジェクトのファイル構成

• 3つのフォルダが重要



wwwroot: 静的なファイルを配置する

Pages: 各ページを定義

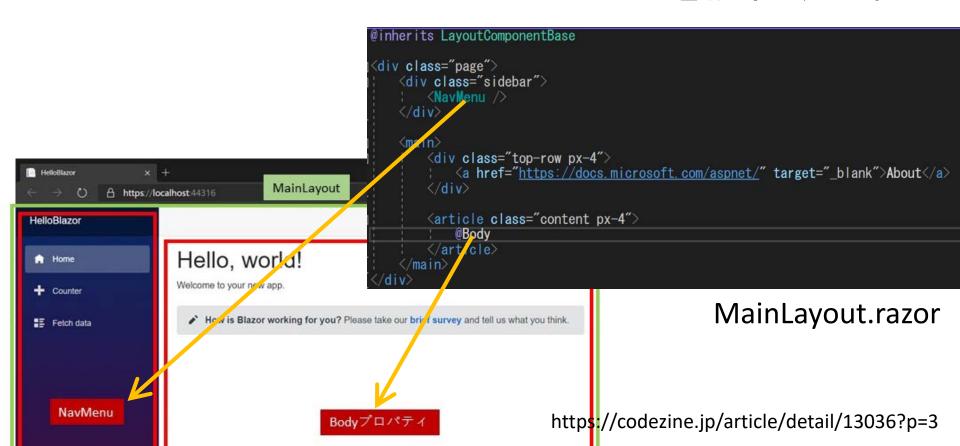
Shared: 各ページのメニューを実現する コンポーネント・子コンテンツのコンポーネント

#### wwwroot

- www.root/index.html が最初に読み込まれる
- index.html では blazor.webassembly.js を呼ぶ。
- これが.NET アセンブリをロードし、ランタイム を初期化して、プロジェクトのコードを実行する。
- index.html の次は App.razor が呼ばれる。
- そこでは MainLayout.razor を呼んでいる。

#### Shared/MainLayout.razor

- メインのレイアウトを提供する HTML の部品が 作られる。ただし C# 実行可能。
- NavMenu.razor はサイドメニューを提供する。



- Razor ファイルは C# を直接記述できる HTML。 過去の Razor Pages の .cshtml と同一。
- Blazor フレームワークでは拡張子.razorに変更。
- @を付けるとC#を実行できる。



Pages/Counter.razor

```
page "/counter"

pageTitle>Counter

// Counter

// Coun
```

#### Shared ディレクトリ

- Pages で共通するレイアウトを定義するテンプレート。
- MainLayout.razor、NavMenu.razor、また
   SurveyPrompt.razor が含まれている。
   MainLayout.razor

```
@inherits LayoutComponentBase
                         ←レイアウトとしてテンプレートを定義する
                           場合は LayoutComponentBase の継承が必要
<div class="page">
   <div class="sidebar">
      <NavMenu />
   </div>
            ↑ NavMenu.razor
   (main)
      <div class="top-row px-4">
          <a href="https://docs.microsoft.com/aspnet/" target="_blank">About</a>
      </div>
      <article class="content px-4">
          @Body
                 ← Index.razor や Counter.razor、FetchData.razor
      (/article)
                   サイドバーのクリックでページ(Bodyの中身)変化
```

# Pages ディレクトリ

- Index.razor、Counter.razor、FetchData.razor。
- サイドメニューをクリックして表示される画面。
- 以下は Index.razor。
- SurveyPrompt は Shared にある .razor。
- Title に @DateTime.Now を渡してみた。

#### Pages/Index.razor

#### Counter.razor

@currentCount

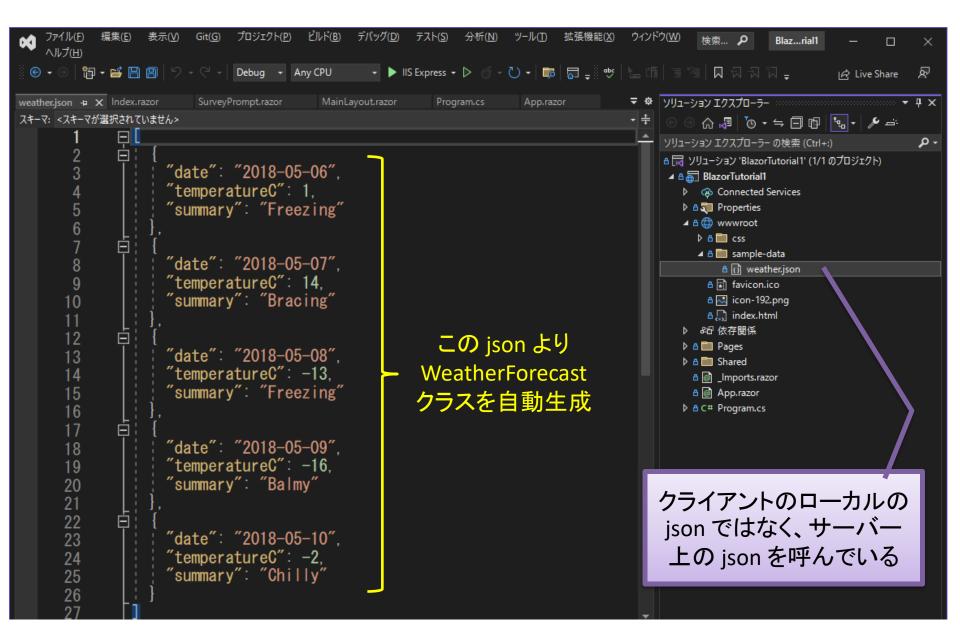
- HTML側で@を付けて、値を取得している。
- .razor では、ファイル名と同じ名前の C# クラスが作られる。 currentCount や IncrementCount はメンバ。

```
@page "/counter"
 <PageTitle>Counter</PageTitle>
 <h1>Counter</h1>
 Current count: @currentCount
 <button class="btn btn-primary" @onclick="IncrementCount">Click me</button>
⊟@code
     private int currentCount = 0;
                                           C# のコード
     private void IncrementCount()
                                           private なメンバ
        currentCount++;
```

#### FetchData.razor

- まず、C#側(@code{})にて、WeatherForecast クラスのインスタンスを、forecasts 配列に格 納する。
- GetFromJsonAsync にて、json ファイルから 自動的にクラスを作っている。

### sample-data/weather.json



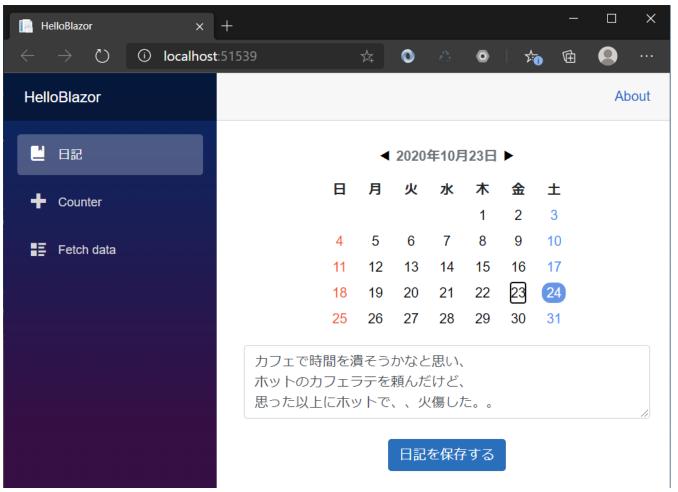
## HTML側

 インスタンス配列から foreach で table の tr タグを作って、表を生成している。

```
16
17
                 <thead>
                     >
18
19
                          Date
20
                          \langle \mathsf{th} \rangle \mathsf{Temp}. (C) \langle \mathsf{th} \rangle
21
                          \langle \mathsf{th} \rangle \mathsf{Temp}. (F) \langle \mathsf{th} \rangle
                          Summary
22
23
                     </thead>
24
25
                 @foreach (var forecast in forecasts)
26
27
28
                          @forecast. Date. ToShortDateString()
29
                              @forecast. TemperatureC
30
31
                              @forecast. TemperatureF
                              @forecast. Summary
32
33
                          34
                 35
36
             (/table>
```

#### 次の機会は。。。

日記アプリに進みたいです。



- 連載5回の うちの、 二,三回目。
- 「Blazorコン ポーネント の開発」



https://codezine.jp/article/detail/13321